

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和6(2024)年度

施設名	栃木県総合運動公園北・中央エリア
施設所管課	生活文化スポーツ部スポーツ振興課
指定管理者	代表：公益財団法人栃木県スポーツ協会（法人番号 8060005007630） 構成員：公益財団法人栃木県民公園福祉協会（法人番号 9060005007605）
指定期間	令和5(2023)年 4月 1日～令和10(2028)年 3月 31日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市西川田4-1-1
施設の概要	<p>(施設概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技場（延床面積 42,168 m<sup>2</sup>）陸上競技場（雨天走路有）、サッカー場</li> <li>多目的広場（投てき場）（敷地面積 13,292 m<sup>2</sup> 内側舗装路除）</li> <li>多目的広場（クレイ）（敷地面積 5,407 m<sup>2</sup>）</li> <li>第2陸上競技場（敷地面積 33,300 m<sup>2</sup>） 陸上競技場、芝フィールド（サッカーコート兼用）、屋内外雨天走路</li> <li>武道館（延床面積 9,631 m<sup>2</sup>） 第一道場 柔道剣道兼用6面、第二道場 柔道剣道兼用4面、弓道場（近的・遠的）</li> <li>野球場（本球場）（延床面積 12,904 m<sup>2</sup>）ナイター照明6基</li> <li>軟式野球場A,B（敷地面積 30,000 m<sup>2</sup>）</li> <li>軟式野球場C（敷地面積 22,500 m<sup>2</sup>）</li> <li>ウォームアップ場</li> <li>テニスコート（敷地面積 21,000 m<sup>2</sup>）全天候型砂入り人工芝16面</li> <li>サッカー・ラグビー場（敷地面積 66,800 m<sup>2</sup>） サッカーコート3面（内、ラグビーコート兼用1面）、ラグビーコート1面</li> <li>相撲場（延床面積 636.33 m<sup>2</sup>）</li> <li>合宿所（延床面積 731 m<sup>2</sup>）</li> <li>とちぎスポーツ医科学センター（延床面積 613.5 m<sup>2</sup>）</li> </ul>
業務内容	<p>①栃木県総合運動公園北・中央エリアの施設の維持管理に関すること ②栃木県総合運動公園北・中央エリアの施設等の利用の許可に関すること ③栃木県総合運動公園北・中央エリア等の運営に関すること ④とちぎスポーツ医科学センターの運営に関すること ⑤その他付帯すること</p>

2 収支の状況

令和6(2024)年度

(千円)

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	743,991	指定管理※2	事業費	0
	利用料金収入	57,789		管理運営費	570,222
	駐車場事業収入	85,533		人件費	291,048
	その他収入※1	5,809		その他支出※1	44,002
	合計	893,122		合計	905,272
指定管理業務収支差額①		▲12,150			
自主事業		0	自主事業	0	
自主事業収支差額②		0			
収支差額(①+②)		▲12,150			
備考(※1 その他収入の主なものを記載)			備考(※1 その他支出の主なものを記載)		
クラブファンディング 成立金 4,775 千円			租税公課費 44,002 千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和5年度（前年度）

（千円）

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	743,991	指定管理※2	事業費	0
	利用料金収入	62,043		管理運営費	483,847
	駐車場事業収入	79,718		人件費	273,980
	その他収入※1	8,763		その他支出※1	44,860
	合計	894,516		合計	802,687
指定管理業務収支差額①		91,828			
自主事業		0	自主事業		0
自主事業収支差額②		0			
収支差額（①+②）		91,828			
備考（※1 その他収入の主なものを記載）			備考（※1 その他支出の主なものを記載）		
エネルギー価格高騰対策支援金 6,104 千円			租税公課費 44,860 千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

### 3 利用状況

施設名	項目	令和5年度 (前年度)	令和6(2024)年度
園路広場	給水塔下広場	1,721	3,166
	ウォーキング（サッカー場）	57,884	55,043
	ウォーキング（第2陸上）	14,981	18,493
	ウォーキング（北エリア）	19,423	21,150
	中央広場	17,168	15,563
	水生植物園	12,166	12,442
	憩いの森	2,320	3,146
	スケボーエリア	340	275
	北エリア緑の丘	17,751	27,963
遊戯施設	とちのきファミリーランド	(1,453,188)	(1,534,699)
	（ ）延べ利用者÷5	290,639	306,993
運動施設 ※会議室含	陸上競技場	189,212	200,262
	多目的広場（投てき場）	11,300	11,193
	多目的広場（クイックラント）	10,490	18,655
	スポーツ医科学センター	11,724	16,595
	トレーニングルーム	3,192	3,849
	第2陸上競技場	48,134	69,214
	野球場（本球場）	78,650	68,840
	野球場（A・B・C）	37,263	29,935
	ウォームアップ場	1,094	1,120
	サッカー場	15,581	12,281
	ラグビー場	3,087	8,606
	テニスコート	48,139	57,676
	武道館	111,462	147,706
	合宿所	2,955	3,846
	相撲場	913	2,824
	（うち減免）	(15,149)	(8,492)
	遠足・その他	373	322
計		1,007,962	1,117,158

#### 4 サービス向上に向けた取組

##### 栃木県スポーツ協会

- (1) 利用者の安全を踏まえ、点検を日常的に行うほか、毎月1回「施設等点検日」を設け、各施設担当職員が施設・設備・器具等の点検・確認を行った。(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (2) 利用者の利便性向上と利用促進を図るため、ホームページにより予約状況等を周知するとともに、「総合運動公園イベントニュース」としてリニューアルし、毎月発行した。イベントニュースには、QRコードを掲載し、予約状況がリアルタイムで分かるようにした。また、混雑予想として混雑日を★マークで見える化した。(北・中央エリア)  
また、有料駐車場の利用状況についても、イベント毎に積極的にホームページにて情報提供を行った。
- (3) 利用者からの意見や苦情に対し、安全・安心を最優先に、出来るものから速やかに対応した。(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (4) 感染症対策のため、引き続き規模を縮小して検温や消毒等の対策を講じた。(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (5) 「スポーツ医科学」と聞くと、研究や実験をする施設と思われるケースが多いため、講習会を積極的に開催し、一般県民にも足を運んでもらうことで、より身近な施設に感じてもらえるように努めた。また、参加者増を図るため、ホームページや、「SNS運用方針」をもとに、情報発信を行った。(医科学)
- (6) 合理的配慮を要する方々の利便向上のため、宇都宮大学とのコラボにより、カンセキスタジアムとちぎの多機能トイレに鏡を設置している。また、カンセキスタジアムとちぎの2階トイレにトイレサインが見やすいと評価が高い。(北・中央エリア)
- (7) AEDについて、全ての専門員が対応出来るよう、宇都宮南消防署による研修会を開催した。(北・中央エリア)
- (8) AEDについて、全てのスタッフが対応出来るよう、日本赤十字社による赤十字救急法基礎講習を修了した。(医科学)
- (9) 適切な施設運営管理を行うため、「スポーツ施設管理士」「スポーツ施設運営士」「上級スポーツ施設管理士」の資格を取得させるなど、人材育成を行った。(北・中央エリア)
- (10) 大規模興行開催時の駐車場の出庫に係る苦情に対し、警備員を適正配置するとともに、通常業務外である駐車料金の収受にも対応するなど、早期出庫ができるよう工夫した。(北・中央エリア)
- (11) カンセキスタジアムとちぎのカラス飛来対策として、CrowLab(宇都宮大学発のベンチャー企業)に依頼し「だまくらカラス」(音声再生装置)を設置し、カラス被害が減少した。(北・中央エリア)
- (12) 昨年度導入した野球場、テニスコートのweb上での予約システムは利用が定着し利用者の利便性向上に繋がった。(北・中央エリア)
- (13) 総合運動公園のパンフレットを作成し、公園全体の利用促進を図った。
- (14) カンセキスタジアムとちぎメインエントランス付近にギャラリーを設置し、カンセキスタジアム完成までの工事写真や国体のトーチや写真、メダル、賞状等を展示している。
- (15) ホームページ予約システムを改修し、利用者の利便性向上を図った。(医科学)
- (16) 令和6(2024)年7月、新紙幣対応の券売機を導入した。
- (17) サポート予約を公式LINEから受付できるように仕組みづくりを行った。(医科学)

##### 県民公園福祉協会

- (1) 大規模大会開催時の渋滞対策には主催者への適切な指導を行い、駐車場の専用利用を推進した。また専用以外の駐車場の出庫渋滞対策として引き続き警備員を効率的に配置したほか、新たに「事前精算」、及び「臨時出口」対応を実施し、出庫時間の短縮に大きな効果を上げた。
- (2) 集中利用時の混雑に対し、職員や警備員によるフレキシブルな誘導等を行い、利用料金収入は目標値を大きく超えた。(138.6%)
- (3) 合宿所レストランの運営について、合宿者と食事業業者との連絡調整を図り適正な合宿食提供を実施した。
- (4) 自主運動事業において、栃木SCと連携したサッカー教室を計画5回のところ、15回実施した。長距離記録会は計画1回のところ3回実施した。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	
栃木県スポーツ協会 (1) 利用者意見の集約 ⇒ 利用調整会議にて、優先利用団体等にアンケート調査を実施した。(59件) <u>(北・中央エリア、武道館)</u> ⇒ 開所から利用があった選手・団体等にアンケート調査を実施した。(265件) (医科学) (2) 普通利用時のアンケート回収ボックス <u>(北・中央エリア、武道館)</u> (380件) (3) 利用者へのサポート前に十分な説明を行い、「意見書」を配布し、回収している <u>(医科学)</u>	
主な利用者意見 (苦情・要望)	対 応
栃木県スポーツ協会 (1) アナウンス・音楽がうるさい。 <u>(スタジアム)</u> (2) 指定場所以外で喫煙している。 (中央エリア) (3) 猛暑対策として野球場の利用時間を 8:00 からとして欲しい。 (中央エリア) (4) 駐車場の慢性渋滞対策についての要望が多く寄せられた。	栃木県スポーツ協会 (1) 主催者に指示し、音量を下げる。 <u>(スタジアム)</u> (2) 禁煙周知の看板設置、巡回による声かけ。 (3) 主催者が希望する場合、試行的に 8:00 競技開始を認める。 (4) 主催者と情報共有し、より良い対応策を検討していく。
県民公園福祉協会 (1) スケートボード利用者への苦情	県民公園福祉協会 (1) スケートボードエリア利用者やエリア外滑走者への注意指導を継続実施し、適正利用を推進する。
主な利用者意見 (積極的評価)	
栃木県スポーツ協会 (1) カンセキスタジアム普通利用者アンケート調査結果 (323件中) 看板等のわかりやすさ                      とてもわかりやすい・わかりやすい ⇒ 89.3% 職員の対応等                                      満足・やや満足 ⇒ 99.0% 施設内の掃除                                      満足・やや満足 ⇒ 98.7% (2) 医科学センター利用アンケート調査結果 トレーニング指導                              満足・やや満足 ⇒ 94.4% 測定    満足・やや満足 ⇒ 93.1% 栄養指導    満足・やや満足 ⇒ 88.8% 今後も利用したい                              思う・ややそう思う ⇒ 93.2%	
県民公園福祉協会 (1) スタッフの対応がとても良かった。 (2) 芝生、樹木などがとてもよく管理されている。	

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
栃木県スポーツ協会 (1) 施設設備等の補修 ・利用者の安全・安心を最優先に考え、施設・設備等の不具合に対し、速やかに修繕を実施した。 ＜スタジアム＞ 消防設備不具合修繕、散水栓修繕、間口角コンクリート修繕、器具庫シャッター修繕、ワイヤレスメガホン修理、VTR ケーブル断線修理、自転車者スタンド修理、ミックスゾーン空調機

センサー修繕、券売機新紙幣ユニット交換、フィニッシュタイマー修理、防火シャッターバッテリー交換、ガス漏れ警報器修繕、写真判定装置 CPU 修理、大型映像装置 UPS バッテリー交換、自転車タイヤ修理、インカムベルトパック修繕、安全弁放流管雨だれ防止修繕、管理用通路舗装修繕、内部コンコース漏水補修

< 武道館 >

火災報知器修繕、第二道場コンセント修繕、回遊デッキ手摺周り石・タイル修繕、回遊デッキ自立案内板修繕、弓道庫上枠蓋・第二道場戸修繕、弓道場床シーリング修繕

< その他 >

第 2 陸上競技場ガラス破損交換

- ・スタジアム観客席が風雨による汚れ等が著しいため、清掃を複数回実施した。また、2階内部コンコースが利用者の飲み物等による汚れが著しいため、コンコースの清掃も複数回実施した。

併せて、2階コンコース上部・3階・4階のガラスの清掃も実施した。

(2) 施設設備等の定期的な点検 (北・中央エリア、武道館、医科学)

- ・定期的に「日常点検」を実施し、施設設備や競技用具のチェックを行っている。
- ・「大会終了後点検」や「月次点検」も併せて実施し、複数人による施設・設備・用具のチェックを実施、利用者の安全・安心と利便性の向上を図る。

(3) 利用者からの意見 (北・中央エリア、武道館、医科学)

- ・利用者からの意見については、北・中央エリア内や栃木県スポーツ協会事務局、県生活文化スポーツ部スポーツ振興課とも協議しながら、利用者の安全を第一に考慮し、速やかに対応した。

(4) 危機管理体制の維持 (北・中央エリア、武道館、医科学)

- ・火災等の緊急時に備え、利用者の安全確保を目的に防災避難訓練 (カンセキスタジアム 1 回、合宿所 1 回) を実施した。

(5) 高齢者及び障害者等への配慮 (スタジアム、武道館、医科学、合宿所)

- ・各施設に車椅子を配置し、必要により柔軟に対応した。
- ・宇都宮大学とのコラボにより、カンセキスタジアムとちぎの多機能トイレに鏡を設置した。また、カンセキスタジアムとちぎの 2 階トイレにトイレサインの塗装を行った。

(6) 来館者が多い大会等の駐車場対策 (北・中央エリア)

- ・主催者と事前に十分な打合せを行い、主催者による近隣商業施設への迷惑駐車への対応や、駐車場利用混雑回避のため、交通機関等の活用及びシャトルバスの運用等について、協力をお願いした。
- ・円滑な出庫ができるよう警備員の配置を当初計画より増員して対応した。

(7) 見学・視察等の実施 (スタジアム、武道館)

- ・スタジアム及び武道館の見学等の希望が多数あり、適宜対応した。  
(スタジアム 35 件、695 人・武道館 4 件、75 人)

(8) スポーツ教室の開催 (医科学)

- ・利用者のニーズに応え、トレーニング指導講習会を対面講習会として開催した。(参加者延べ 110 名)
- ・パラアスリーのニーズに応え、パラアスリート向けトレーニング講習会を開催した。(参加者延べ 19 名)

(9) 利用者のごみの持ち帰りへの取組 (北・中央エリア、武道館、医科学)

- ・利用者に対し、「ごみの持ち帰りの徹底について」打合せ等の際に確認するなど、ごみ削減の対策に取り組んだ。

(10) 効率的な運営 (北・中央エリア、武道館、医科学)

- ・職員が常にコスト意識を持ち、効率的な運営を心掛け、経費削減に努めた。

(11) 器具庫内の湿気対策 (北・中央エリア)

- ・器具庫内が異常に多湿であり、器具・備品・精密機器の品質劣化や故障等を招く恐れがあるとの指摘を受け、多湿状況を見ながら設置した大型扇風機を回す等湿気対策・管理に努めた。

(12) 第 84 回全国スポーツ施設研究協議大会を開催し、全国から 216 名の参加を得た。特別講演や事

例発表、意見交換会、視察等を行った。

#### 県民公園福祉協会

- (1) 利用者の多い園内施設（東屋、藤棚、ベンチ等）の改修に積極的に取り組んだ。さらに改修された箇所でも危険の内在を事前に発見し、自主的な改修に努め、事故を未然に防止した。
- (2) 古木の剪定や樹形維持など適切な維持管理に取り組んだ。また枝枯れに対しては、巡視の強化により早期の発見と除去に取り組み落枝事故を防止した。
- (3) 桜の衰退度調査について、これまで積み上げた樹木医の専門的診断データを活用し、危険性の有無を判断したうえで栃木県と連携し、利用者の理解を得られるよう適切な管理計画につなげた。また、若木の移植も行い計画的に世代交代を行っている。
- (4) 苦情の多いスケートボードへの対策として、仮設エリアの活用、エリア利用者やエリア外滑走者へ徹底した注意指導を実施し、適正利用を図った。これにより、スケートボードの不法利用と苦情を減らすことができた。一部の常習的不法利用者に対しては、引き続き注意監視を実施していく。
- (5) 運動施設の利用増加に伴い、競技用芝生への負荷が増したため、刈込回数や施肥回数を計画より増やし、良好なコンディションの維持を実現した。
- (6) 公園近隣住民に配慮し日照障害になる樹木の枝おろしを行ない、また落ち葉の回収頻度を高め公園外への飛散防止に努めた。

#### 利用者サービス向上を図るための取組

#### 栃木県スポーツ協会

一年間を振り返ってみた職員による自己評価

- (1) 個人情報保護、守秘義務への対応については、各自が常に意識して業務にあたっている。  
(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (2) 防火管理や防火訓練における対応は、各自が真剣に取り組む評価が高い。  
(北・中央エリア、武道館)  
AEDの取扱い研修への対応も評価が高い。(医科学)
- (3) 受付や窓口業務での対応は、明るく適切に利用者への公平・公正にも配慮し、評価が高い。  
(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (4) 県生活文化スポーツ部スポーツ振興課と連絡調整や県市との連絡調整と連携については、スムーズに行われており評価が高い。利用調整会議も適切に運営し、利用団体等の評価が高い。  
(北・中央エリア、武道館)
- (5) 講習会などの自主事業については、職員間の協調体制など評価が高い。  
(医科学)
- (6) 大会等のスムーズな運営のため、利用打ち合わせを適切に行っている。また、その経験値を踏まえ、次の大会等へ反映させるなど、専門員の経験値もアップしており、評価が高い。(北・中央エリア)
- (7) ホームページの活用については、専用利用状況等を掲載し、利用者の利便性が図れていることから評価が高い。また、臨時休館等のお知らせを掲載し利用者への周知に努めたほか、駐車場の状況についても積極的に掲載した。  
(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (8) テニスコートのウェブ予約が定着したことで、令和6(2024)年度のテニスコート個人利用者数は、約1.2倍に増加した。(18,415人→22,660人) (北・中央エリア)
- (9) カンスタの特長である「内水濠」をPRするため、「2024カンスタ STEEPLE CHASE チャレンジ記録会兼小学生1000mチャレンジ記録会」を開催し、延べ177人のエントリーがあった。(北・中央エリア)
- (10) 令和6(2024)年度からの回数券を導入した。(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (11) クラウドファンディングにより「とちまるくん階段アート」を3箇所整備した。(北・中央エリア)
- (12) 令和6(2024)年10月27日、総合運動公園内運動施設利用の大規模大会等の開催により約2万人の利用が想定されたことから、公共交通機関利用の大キャンペーンを行い、円滑な施設利用を図った。(北・中央エリア、武道館、医科学)

<p>(13) 令和6(2024)年4月から回数券を導入した。<u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u></p> <p>(14) 利用者のリピート率が高く、特にトレーニング指導では約8割が継続した利用があった。<u>(医科学)</u></p> <p>県民公園福祉協会</p> <p>(1) 年間を通じて管理事務所を開所している。</p> <p>(2) 大会利用時には、利用者の希望に合わせて、利用時間前の利用等で利便性を図った。</p>
<p>今後改善・工夫したい事項</p>
<p>栃木県スポーツ協会</p> <p>(1) ホームページを活用した広報活動や利用者への情報提供をさらに積極的に取り組み、利用者の増加と利便性の向上を図る。<u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u></p> <p>(2) 利用調整打ち合わせを適切に行い、利用者の安全・安心と利便性の向上に努めるとともに、職員のノウハウの習得と経験値の向上を図り、利用者へ還元につなげていく。<u>(北・中央エリア)</u></p> <p>(3) 利用者の安全・安心を確保するため、引き続き以下の事項を行う。 <u>(スタジアム、武道館、医科学)</u></p> <p>① スタッフが災害時(火災・地震等)に即時対応できるように、避難や誘導方法を把握し、訓練を行うなど、利用者の安全を確保する。</p> <p>② 施設内の犯罪予防と良好な環境を保全するため、挙動不審者の把握・風紀秩序の保持に努める。</p> <p>(4) 事故等を未然に防止するため、職員が表示板や張り紙などを作成し、施設内での注意喚起や適切な誘導に努める。また、利用者が見やすいように工夫する。<u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u></p> <p>(5) 新型コロナウイルス感染防止対策等に的確に対応できるよう職員の資質の向上を図る。 <u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u></p> <p>(6) 予約システム(野球場、テニスコート)を令和5年8月から本格稼働させ利用者の利便向上等を図るとともに、今後さらなるブラッシュアップに努め、サービス向上を図る。</p> <p>(7) 利用者の利便向上等を図るため、医科学を除く全施設の電子申請システムの開発を進める。</p> <p>県民公園福祉協会</p> <p>(1) 恒常化している駐車場不足、出庫渋滞問題への対応。</p> <p>(2) 日環アリーナも含んだ、総合運動公園全体としての連携、調整および情報共有</p>

## 7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	利用調整会議等により、確保されていた。	B
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	定められた手続きに基づき、適切な許可を行っている。	B
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。	誘導案内板やトイレサイン等により、適正に配慮した。	B
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	県内スポーツ競技の振興や競技力の向上という設置目的に沿った業務が適正に実施された。	B
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	HPやSNS等を活用した情報発信を実施し、利用促進を図った。予約システム(野球場、テニスコート)の運用を行いサービス向上を図った。	A

	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	アンケートを実施し、必要に応じて改善を実施し、満足度の向上を図った。	B
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	意見箱を設置し、苦情・要望に対して適切に対応した。	B
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	日常的な点検のほか、月1回「施設等点検日」を設け、適切に維持管理・安全管理を実施した。	B
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	自主事業を積極的に実施し、県民サービス向上も図った。また、駐車場利用について、効率的な運用を行った。	A
3. 管理を安定的に行う 物的人的基礎	①組織体制は適正か	職員をバランス良く配置し、適正な管理運営を行っている。	B
	②収支は適正でバランスがとれたものか	適正な予算配分で執行し、概ね適正である。	B
	③経費の縮減に取り組んできているか	コスト意識を持ち、効率的な運営を心がけるよう取り組んだ。	B
	④人材育成は適切に実施されているか	スポーツ施設管理士の資格取得や AED の利用に関する研修実施などの人材育成に取り組んだ。	B
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	適切に実施されており、県への報告も速やかに実施している。	B
	⑥県や関係機関との連携ができていますか	随時情報共有を行い、連携している。	B
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報取扱特記事項を遵守し、適切に実施されている。	B
	②情報公開は適切になされているか	文書等の開示に関する規定を策定し、適切に対応している。	B
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	スポーツ施設及び都市公園としての特性にあった評価を実施している。	B
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	栃木 SC とのサッカー教室や長距離記録会を実施した。	A
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	HP や SNS 等を活用した情報発信を実施しており、地域のスポーツ団体と連携したイベントを実施している。	A
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	ゴミ等の持ち帰りを徹底するとともに、適切に樹木を管理し、落ち葉の回収を実施した。	B
	⑤その他管理運営上の特記事項	クラウドファンディングにより「とちまるくん階段アート」を3箇所整備した。	B

総合的な評価

- ・施設の効果的な運営、施設の維持管理・安全管理、利用者への接遇、災害時の対策など、指定管理者として要求される水準の取り組みが行われている。
- ・プロスポーツの興行など、大規模なイベントが実施されるが、イベント主催者との連携・公園内他施設の管理者と連携し、対応している。また、駐車場の効率的利用に向けた取り組みも実施している。
- ・スタッフの対応や園内の管理状況についても積極的評価が多く、各施設大きな混乱もなかった。

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。